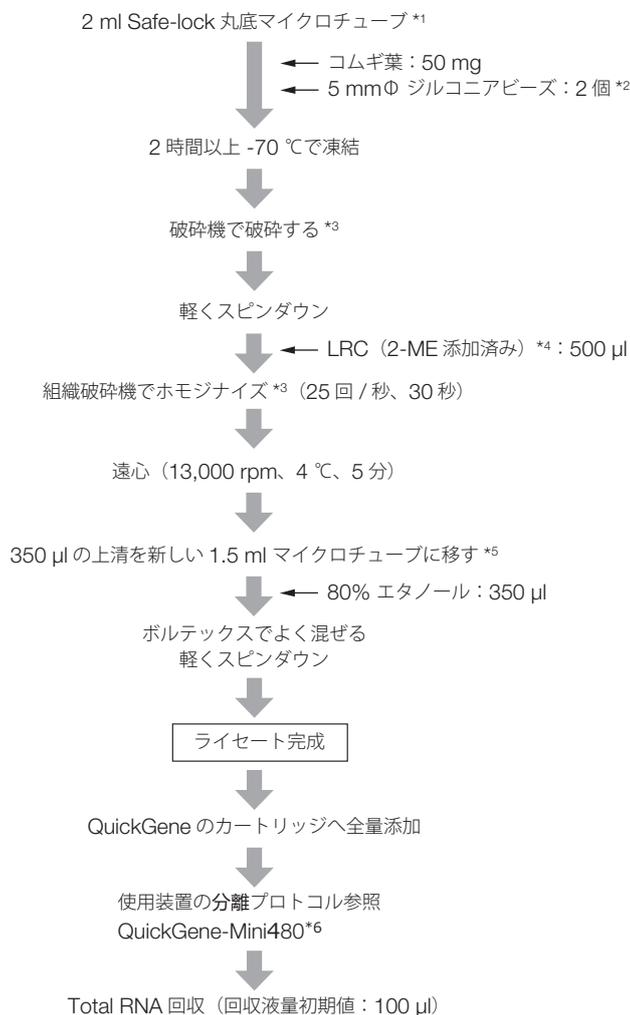


RB-8

## コムギ（小麦）からの total RNA分離

### プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

\*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.Ltd.)

\*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

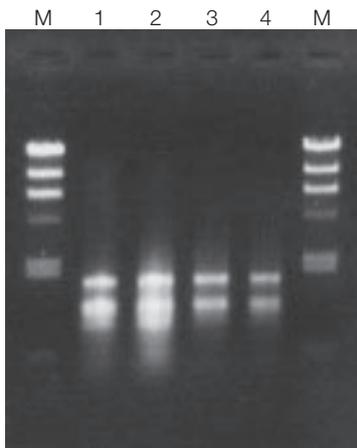
\*4 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維がいくらか混じていても結果に影響はありません。

\*6 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### 電気泳動図



電気泳動条件  
0.8% アガロースゲル  
TAE  
2  $\mu$ l のサンプル / ウエル

M :  $\lambda$ -Hind III (100 ng)  
1 : コムギ葉 (*gramineae*)  
2 : オオムギ葉 (*gramineae*)  
3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

### Total RNA の収量

コムギ葉	6.12 $\mu$ g
------	--------------

### タンパク質の混入 : A260/280

コムギ葉	2.11
------	------

### カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

### その他

データなし

## 共通プロトコルサンプル

*N.benthamiana* 葉、オオムギ葉、*C. quinoa* 葉